

ミュージカル

普通にブランド品とか好きだった私が、

カンボジアで孤児院のお母さんになった。

くくくくま孤児院 柊梨紗の物語

脚本・作詞・作曲

まき
りか

《登場人物とキャスト》

● 柗 梨紗

物語の主人公。普通のOLだったが、カンボジアのくつくま孤児院で20人の母親になる。

● トラー

孤児院で育ち、20人の子ども達を必死に養っている。

● 杉野栄子

ZOO法人メイクザヘブン カンボジア事務所長。梨紗の大学の同級生。

● 安田豪太

ZOO法人メイクザヘブン理事長。栄子とは公私ともにパートナー

● 龍村和弘

ラーメン店を日本とアジアに展開する実業家。孤児院を支援している。

おませさんチーム

● ソリヤー

● チェンダー

● スライリン

● ニモル

● ティアラ

リンダに憧れる、おませな小学生女子5人組。

群れない個性派チーム

● ソムナーン

絵が得意で少し内気な子。

● ポッパ

字がきれいで大人しい子。

● ポンルー

ちよっとお調子もの。

● リンダ

大人っぽくて、小学生女子の憧れの的。

優等生チーム

● タヴィー

孤児院の最年長。医者になるため医大を目指す。

● ラツケナー

●カニヤー
いちばんの優等生。教師になりたい。
しっかりもので、みんなの世話を焼く。

だらだらチーム

●ティダー

朝いちばん遅く起きてくる。勉強が大の苦手。

●ナリー

何をやらせても動作が遅い。

●カニカー

掃除が大の苦手。大雑把で男まさり。

頼りになるお兄さん？チーム

●ダラー

サッカー選手を夢見ている。

●ソンポウ

男子最年長。みんなのムードメーカー。

●マカラ

心は女の子。おさいほうが得意。デザイナー志望。

●パニヤ

最年少の男の子。

●スレイパウ

最年少の女の子。

●龍村雪

龍村の娘。カンボジアへやってくる。

【一場・オープニング】

雷が響き渡る。瞬く間にまっくろな雲に覆われ、激しい雨が降りだす。町をさまよっていた、ボロボロの孤児たちが、方々からあらわれる。雨をよけるように、次第にひとつ屋根の下に集まってくる。

大人たちも、まだ、出会っていない。それぞれの迷いをかかえて、そこに立っている。

■「ミ」の道の先に（テーマソング）」

（キッズ全員コーラス）

Yely Yely Yeah Yely Yely Yeah Yely Yely Yeah
o, o, o, o o, o, o, o

（だんだんカブよく）

Yely Yely Yeah Yely Yely Yeah Yely Yely Yeah
o, o, o, o o, o, o, o

（梨紗）

道に迷ったら 元いた場所に戻ればいいと
子どものころ教えられた
戻る場所すら見つからない時は どうしたらいい
大人になってからのほうが 迷子が多いよね
見つけたい 私の居場所

（トラー）

守りたいものある幸せ
でも時に孤独
ひとりでできることは あまりにも小さくて

（栄子）

差し伸べられた手を握って
ここから一歩踏み出せるなら

（豪太）

温もりは 進む力になる
だから人は生きてゆける

【2場…プノンペン国際空港／回想 渋谷の路上&カフェ】

■SE バイクの音、車のクラクション、空港のアナウンス（英語）

大きなスーツケースを引きずり、フリフリの帽子をかぶり、
梨紗が空港を出てくる。

梨紗 ついに来た、カンボジア！プノンペン国際空港！
あつゝゝゝい！すごい人！すごいバイクの数！

男の子（影声）に声をかけられる梨紗。

梨紗 なんだか・・・みんなが私を見てる気がする。みんなニコニコして
近づいてくる。
あ、あの男の子、イケメン。15歳くらいかな。あ、こっち来た！

男の子 （クメール語）日本人？
梨紗 え、言葉ぜんぜんわかんないよ。
男の子 （クメール語）お金ちょうだい。
梨紗 えっと、私はいま友達と待ち合わせてるから、ごめん。
男の子 （クメール語）1ドルでもいいから。
梨紗 ああ、私はこうみえても27歳なの！ね、だからパス！ごめんね！
男の子 （クメール語）50リエルでもいいよ。

栄子がやってくる。

栄子 梨紗、お待たせ！（男の子たちにクメール語で）さよなら。

男の子（男の子たちにクメール語で）チッ、なんだよ、ケチ！

男の子たちはムダだとわかり去っていく。

梨紗 着いて早々声かけられちゃった。
なんか10代にみえちゃったみたいで…
栄子 ああ今の？お金くれて言ったの。ああいうの多いからね、ここ
は。
梨紗 ……そ、つか…

栄子 梨紗。よく来たね！カンボジアへようこそ！

梨紗 栄子〜。ついに来ちゃったよ〜。
栄子 すっごい荷物！

梨紗 だって3ヶ月ぶんの服とか化粧品とか。
日焼け止めも10本ぐらい買っちゃった。
カンボジアに気に入ってるのが売ってないかもしれないもん。
栄子 そんな調子で持つのかなあー。
梨紗 アジアに来たこともないのに、いきなり3ヶ月も日本語教師のボランティアだなんて。
梨紗 栄子が誘ってくれたんじゃない。

■M2「女どうし」

♪(梨紗)

あの時、渋谷のカフェで 私の人生が変わった
偶然の再会。マルキュー前の交差点。

再会シーン再現 (M2の間奏がBGMとしてずっと続いている)

栄子 梨紗！？梨紗じゃない！
梨紗 栄子！！！！偶然〜！

♪(梨紗)

大学時代から化粧っ気ゼロ、お洒落っ気ゼロ
バックパッカーで世界中を旅して
いっつも真っ黒に日焼けして
でもなぜか男の子にけっこう人気があって
インド行って人生変わったとかいうタイプの
むさくるしい男どもと常につるんでた、あの栄子！

♪(栄子)

男子の前では2オクターブ声が高くなって、
休み時間のたびに鏡の前で巻き髪と化粧ノリのチェック！
ブランドバッグは日替わりでとっかえひっかえ、
服が決まらないっていう理由で一限目休む、
調理実習は包丁の刃のほうを両手で持つ、
それでも合コンに連れてくと鮮やかに一番人気をゲットする、あの梨紗！

2人 (手をとりあって) 変わってな〜〜い！

栄子 大学卒業以来じゃない？元気にしてた？

梨紗 うん、ま、ね。それより私、時々栄子のブログ見てるよ！

栄子 そうなの？！嬉しい！

梨紗 同級生の名前かたっぱしから検索してたら見つけて。

栄子 ……
 梨紗 すごいね！Zooで働いてカンボジアにいるなんて！
 栄子 そうなの！いまちょうど一時帰国しててね
 梨紗 (遮って) 知ってる！ブログで見たもん。
 栄子 あ、そっか・・・
 梨紗 すごいよねえー。この前行ってたのって、ミャンマーだったけ。

♪ (梨紗)
 ブログでみたよ、お坊さんとのツーショット うけるゝ

♪ (栄子)
 うけるゝってなに。若い子ぶっちゃって。

♪ (梨紗)
 タイにも行けていいなー、私も生春巻きたべたーい

♪ (栄子)
 こっちは学校建てに行ってたのよ。生春巻きなら新宿のタイ料理屋で食べ！

♪ (梨紗)
 カンボジアでさー、井戸も掘ってたよねー。
 ほんと尊敬する。私ならあんなへき地にいけないわ

梨紗 ねえ、カンボジア料理って辛い？

栄子 こいつ・・・(気をとりなおして) あ、ねえ梨紗は？
 いまなにしてるの？

梨紗 私？普通の〇〇だよ。地元の中小企業の事務。そろそろ結婚しよう
 と思ってたんだけど・・・

栄子 結婚？！
 ううん、。。あのね、最近振られちゃって、だめになっちゃった

梨紗 の。

栄子 そうなんだ・・・ま、梨紗を手放すなんて、見る目がないって
 ことだね。梨紗ならすぐ次が見つかるよ。昔からモテモテじゃん。

梨紗 だめだよ、もう27だもん。
 栄子 そんなことない、まだ27なんて

梨紗 栄子は世界標準だからわかんないのよ！この東京の実情が！！・・・
 もうアラサーに片足つつこんでさ、仕事もパツとしないし
 彼氏もないんじゃないや、この先なんにもいいことありそうにない。
 彼とはけっこう長くつきあってたし、結婚するんだって思ってたし、
 いちおう大手企業に勤めてるから給料も標準以上だし、
 結婚してしばらくは共働きしたらリッチに暮らせるし、次男だから
 親と同居の心配もないし、顔もそこそこだから将来子どもが生まれて
 もきつと可愛いだろうと思ってたし、

栄子 ずいぶん緻密な計画だったんだね・・・

梨紗 それがさ、突然いわれたのよ「君とは結婚できない」って。

栄子 「君と結婚するメリットが見いだせない」って。どういうと！
梨紗 ちよつとひどいね、それ。
栄子 でしょ！だから私決めたの！
梨紗 アイツが惜しいことしたって思うくらい、いい女になってやる！
栄子 そうそう！見返してやりなよ！

梨紗 でもさあ・・・
栄子 どうしていいか、わかんないんだよね。。。ほんとに。
ん？

梨紗 一生懸命おしやれして、可愛い女になろうってそれなりに努力してたのに、あんなこと言われたの初めてで、
栄子 ほんとのところ、けっこう傷ついちゃってるんだ・・・
梨紗・・・

梨紗 どうしたら変われるんだろうって考えちゃってさ・・・
本もいっぱい読んでの。

「男が絶対手放したくない女になる24の法則」でしょ、それから
「出会って20分でどんな男もあなたの虜にする70のルール」
「年収1500万円以上の男を次々に引き寄せる魔法の言葉」

栄子 「一生愛され続けるための夜のレッスン」
梨紗 やめて！お子さん客席にいつぱい観に来てるから！
栄子 ・・・ねえ。そのさ、もうちよつと他にないの？興味あることとか。
梨紗 興味？うーん・・・
栄子 ねえ梨紗、今から私と一緒に、ちよつと行かない？
梨紗 今から？

栄子 カンボジアの日本語教師募集の説明会でね、私いまからそこへ行くの。
梨紗 うちのZPOの理事長がさ、めっちゃめっちゃポジティブな人だから。
栄子 きつと話聞いたら、気晴らしになるかもよ！
梨紗 行ってみたい！！連れてって！

♪（梨紗）あの時、渋谷のカフェで 私の人生が変わった

カフェで8人くらいいる想定。一番端っこに梨紗が座って、オレンジジュースのストローをいじりながら「うふっ」っていう感じで話を聞いている。豪太が説明をしている。栄子が資料を配っている。

（*豪太は広島弁にしてください）

豪太 ってことで、以上がカンボジア、プノンペンでの日本語教師のボランティア活動の概要。一緒にがんばってくれるメンバーを募集します。

(栄子に向かってコッソリ)
なあ、あの一番向こうの子、ほんまに興味あんのかな。

栄子

私の大学の同級生なの。

豪太

そこでばったり会ったから連れてきちゃった、ゴメン。

ああー(そういうことね、みたいない感じ)。

(再び、みんなに向かって話す)えー、俺のことは豪太って呼んでください。安田豪太、このZPO法人メイクザヘブンの理事長やつてます。

俺がいたいのはな、たったひとつや。たとえば今、最近なにかうまくいかなかったこととか、あったとするやろ。がんばってきたことの結果が出ないって辛いよな。自分自身が否定されたような気になるやろうし。

梨紗がだんだん真剣に聞き始める。

豪太

でもな、そんなただの結果や。未来は今日から作っていける。

今の結果にこだわる必要はないんや。

今日の一步で未来は変わるんやから。

梨紗

今日の一步で、未来は変わる・・・？

豪太

そんな、一步踏み出すためのコツは、過去のパターンを変えることや。今までとは違うことをしてみる、これや。

梨紗

今までと、違うこと・・・

豪太

大事なのはな、うまくやれるかどうかじゃなく、これをやってみたくっていう気持ちに正直に生きることなんや。
やる前からできるかどうか心配ばかりしてたら、人生の時間がもったいないやんか。その前に動いたもん勝ちや。

はい！(手をあげる)

梨紗？

ハイそのキュートな君！

あのう、私にも、できると思いますか？

できるぞ！何言うてんの、あんたは最高！

あんたはすごいんやで！そのことにまだ気づいてないだけなんよ。

いや、でも梨紗には・・・

あんたはきつと誰かのためにすることをするために生きてる。だから

豪太

その証拠にいまここに生きてるんや、命があるんよ。世界のどっかに

あんたの求めている誰かが待ってる。

そう思ったらワクワクするやろ！

梨紗 うん！ワクワクする！
豪太 それや！最高！
梨紗 私、やります！カンボジアで日本語教師のボランティア！
栄子 梨紗？！ちよ、ちよっと待って！
豪太 決定！最高や！
梨紗 最高や！
豪太 カンボジアで待ってるでー！

回想シーン終わり。豪太はける。

栄子 あの時豪太に「壺買え」って言われたら買ってたでしょ。
梨紗 買ったた！（笑）
栄子 あぶない、あぶない（笑）。
梨紗 で、ほんとにここまで来ちゃったんだね！
うん、ほんとに来た！カンボジア！
豪太さんが言ってた、今日の一步を踏み出すってこと。
それが記念すべき今日！
私、こんなに行動したの、初めてかもしれない！

バイクの音、クラクション。

栄子 あ、お迎えが来た。こっちこっち！

トラーと数名の子がやってくる。

栄子 トラー、ありがとう。遅かったわね。
梨紗 クメール語、初めてきいたー！なんていったの？
栄子 オークン、は、ありがとう。クメール語がカンボジアの母国語よ、
梨紗 現地の人みんなクメール語。みんなもついてきたの
なに？なんて？
栄子 子供たちを連れてきたの？って言ったの。
トラー 空港に行きたいって言ってさ。
梨紗 なんて？
栄子 ああ、この子たちが空港行きたいって言うから連れてきたって。
梨紗 この人の子ども？
トラー 道が混んで遅くなった。
梨紗 なんて？
栄子 道が混んでたって。
トラー 逆方向は空いてたから、たぶん大丈夫だ。
梨紗 なんて？
栄子 え？帰りは空いてるって。
トラー さあ行こう。
梨紗 なんて？
栄子 さあ行こうって。ていうか、いちいち訳さなきゃダメ？！ねえ！

ずっとこれやんなきゃダメ？！

(SE:「ジャンポーン」)

ティアラー このままだと上演時間が10時間を超えてしまうので、ここからは日本語同時通訳でお送りします。
ニモル あしからず、ご了承ください。

「目(ー)目」のプラカードをだす。

ソムナーン ねえ栄子、この子の名前は？

栄子 梨紗よ。この「子」じゃなくて、私と同じ年。

ラッケナー へえ、15歳かと思った。リサ。こんにちはよろしく。

子たち リサーリサー(口々に言いながら、からみついてくる)

こどもたちは笑顔でひとなつっこい。梨紗の荷物を運ぼうとする子。手をひっぱって連れていこうとする子。いきなりで、ためらう梨紗。

梨紗 あ、重いからいいよ。。。

トラーがひよいっとトランクを持ち上げて運ぶ。トラーと目が合う。トラーはぺこりとおじぎをする。

梨紗 ありがとう、よろしくねトラー。あ、この子たちは？

あなたの子ども？

栄子 (トラーにむかって話しかけるが、トラーは日本語がわからず「？」。
栄子がこたえる) 孤児院の子よ。トラーは孤児院出身でね、運転手の
仕事しながら子供達の面倒をみているの。

梨紗 へえ、孤児院・・・。

鈴なりにになって梨紗にからみついてくる子供達。

トラーが梨紗の荷物をトウクトウクに積む。

栄子 じゃ、行こうか！トウクトウクは初めて？！

梨紗 もちろん！すごい、バイクの後ろにこんな大きいものつけてる。

こんなたくさん乗れるの？これを運転するの？

トラーの運転はばつぐんだから！さあ乗って乗って。

わあ、すごい！こんなの初めて！遊園地のアトラクションみたい！

トラー (こどもたちに) お客さんの荷物しっかり持ってろよ。

子たち しゅっぱーっ！

■ 3 「トウクトウクで行こう」

バイクの後ろに 荷車つないだら
カンボジアおなじみの乗り物
トウクトウク トウクトウク トウクトウク
トウクトウク トウクトウク トウクトウク

(栄子)

プノンペン常識

信号なんてない 交通ルールもあるけどない

割り込み逆走 あたりまえ

縦横無尽に突っ走れ

(トラー&KIDS)

必要なのは 度胸と思いい切り

(梨紗)

ほこりまみれで 目もあけられない

舗装もほとんどさされてない

はじめてみる街 はじめてみる景色

上下にゆれて 左右にゆれて

(梨紗&KIDS)

熱い風が吹き抜ける ヒュー！

トウクトウク乗れば トウクトウク楽しい

みんなで乗れば なおさら楽しい

さあさお客さん トラーの運転はカンボジアいちさ！

ようこそトラーのトウクトウクへ！

(チェイサー30秒)

【三場…メイクザヘブン事務所】

室内。さっきの元気とは一変、ぐでーっとしてる梨紗。

梨紗

あぢーっ！

エアコンなんて期待してなかったけどさ、やっぱ暑いもんは暑い！こればかりは慣れない！おまけに今日は水も出ないんだもん。あーシャワー浴びたい！まっばで水浴びしたいよー！

叫んだタイミングで龍村入ってくる。

龍村

え、まっば？！

梨紗

(驚いて大声で) キャー！

龍村

すみませんすみません、怪しい者じゃありません、えーとあなたは・・・

梨紗

ごっごめんなさい、私、ひと月前にここに来た、柊梨紗といいます。

龍村

ああ、あなたがリサ！聞いてますよ、日本語教師のボランティアがきたって。あ、私は龍村といいます。みんなタツさんと呼んでくれる。

梨紗

タツさん。。

龍村

このZPOの活動を応援させてもらってます。

梨紗

そうですか。よろしくお願いします。あつ、栄子なら今留守ですよ。日本人だったんですね、すごくカンボジアに馴染んでる感じ。。あつ、すみません！（急に我に帰り、自分の身なりを気にし始める）あ、私ったらこんなすっぴんで、こんな格好で、すみません！もう暑くてやる気が・・・

龍村

(ぜんぜん無視) 今日には特に暑いからね！

梨紗

あ、はい。もう脳みそ溶けそうですよ！！この事務所、冷蔵庫も洗濯機も掃除機もないから。洗濯板とか、ほうきとか、初めて使いました！

龍村

だよ。たぶん日本でいうと昭和30年ぐらいの感じかなあ。でもこれからのすごい早さで発展していくけどね。

梨紗

へえ。。。あ、でも、フルーツはものつすごく美味しいです！

龍村

フルーツ？

梨紗

それこそ日本とは比べものにならない！その市場にね、しぼりたてのパッションフルーツのジュースがあつて、それがもう（超）生き返る！やっぱり、暑い国で暮らすには、糖分が必要ですよね！ダイエツトとかもう、どうでもよくなっちゃうー。しかも1ドルですよ1ドル！

龍村

（梨紗のまくしたてる勢いになんだか苦笑）

梨紗

あ、タツさんって、カンボジアで仕事してるんですか？

龍村

ぼく？ぼくは、ラーメン屋。

梨紗

ラーメンや？

龍村

日本で、いま、来月で10店舗。あとシンガポールとハワイ。いずれ

梨紗

カンボジアにもね。

龍村

すごいじゃないですか！実業家ですね！！！！かつこいい！

梨紗

（笑って）
ああ、それで。このZPOに寄付してるんだ！

龍村

まあ……。でも、ぼく自身が、力をもらうことのほうが多いかな。

梨紗

ちから？

龍村

梨紗は？どうしてカンボジアに来たの？

梨紗

私ですか？どうしてって：よくわからないけど、何か、今までの自分と違うことしなきゃって思ったんです。

龍村

で、来てどうだった？

梨紗

うーん、まだ2週間だから。ようやく、ここの生活に慣れて来たところ。でもカンボジアの人って笑顔がくっつくくないっていうか

明るくて、なんか癒される。

龍村

癒される、か……

梨紗

なんか、だめですか？

龍村

いや。ぼくもね、最初はビジネスで進出しようと思って

梨紗

この国にリサーチに来た。アンコールワットのほうならともかく、このプノンペンに日本人が純粹な観光で来ることはまずないよね。そうですね、観光スポットもあんまりないし。

龍村

日本人はみんな、自分のための何かを得ようとしてここに来る。

でもね、カンボジアっていう国と、ここに生きる人達のことを本当に知ると、気づかされることのほうが多いんだ。

ぼくもカンボジアの子ども達と会ったことで、変わった。

梨紗

カンボジアの子？

龍村 この国の、内戦の歴史は知ってる？

梨紗 はい、いちおう、カンボジアに来る前のNPOの研修で教わりました。ポルポトって人の独裁政治でカンボジア人が何百万人も殺されたつて。

龍村 トウールスレン博物館は見た？

梨紗 あ、まだ行ってないんです。大量虐殺の場所になった学校が今も残されてるんですよ。なんか、行くの怖くて。

龍村

一度見るといいよ。拷問部屋や、処刑された人達の写真は、見ると辛いけどね。この国の人達と仲良くするなら、やっぱり知ることが大事だよ。

梨紗 そうですね…

■ 4 「暗く歴史」 Intro in

龍村

時代的にいって、いまの子供達の親のまた親ぐらいの世代、当時働き盛りだった人達がごっそり捕まって殺されてるんだよ。独裁者ポルポトはなんで人間をそんなに大量に殺したのか。

梨紗 ほんとうですよ。同じ国の人どうしなのに。

龍村

彼が目指したことを、簡単に説明するとね

♪

けがれた知識をもった人間たちを一掃しろ。

原始時代のような生活こそ、理想。

そのためには、大人はいらない

梨紗 大人はいらない？

龍村 ああ、信じられないようなことが現実起こったんだ。

♪

医者や教師を真っ先に殺した

知識をもっているというだけで殺された

国民を殺すために何十万という地雷を埋めた

代わりにこどもたちが医者や兵士にされ

捕まえた大人たちの体を麻酔もなく切り刻ませた

梨紗 こどもが、兵士や医者に…？

龍村 ああ。実際に、学校だった場所が刑務所になり、多くの罪のない人が

拷問され殺された。そうして本当に大人がいなくなり、首都プノンペンが壊滅したんだ。

梨紗：そんな：

人間の理想というのは時に狂気になる。たった40年まえの話なんだよ。そしていま、カンボジアはその内戦の傷から立ち直ろうとして

世界中からものすごい資本が入ってきて、高度成長のまっただな

だ。

梨紗：ほんと、想像してたより、ずっと都会だった。

龍村

でもね、この国の平均年齢は19歳なんだよ。日本は46歳、えらい違いだね！そして、大人がごとごとく殺されたことで、今もつとも問題なのは教育なんだ。

梨紗

教育？

龍村：そう。いま子ども達の親にあたるぐらいの年齢っていうのが、自分の親や教師を軒並み殺されて、なにも教育を受けていないんだ。

♪

だから働くすべを知らない、生きるすべを知らない
生活していくため、子どもを働き手としてたくさんうむ
でも育て方を知らない
食べていけなくなったなら子どもを売る、捨てる

龍村

そうやって孤児が増える。

梨紗

だからカンボジアにはたくさん孤児が・・・。

龍村

孤児じゃなくても、路上で空き缶ひろって家族の生計を支えてる子どもいる。その子にとってはここが生まれた土地、それがあたりまえなんだ。

梨紗

そっか・・・

龍村

はじめてカンボジアに来た時、現地で暮らす人たちの様子が見たくてあちこちへ行った。そしたらゴミの集積場にたくさん子どもがいるんだ。

梨紗

ゴミの集積場？

龍村

売れそうなものをさがしてるんだよ。ゴミの上を裸足で歩くから傷だらけでね。やせ細ってて。で、ぼくは、その子に聞いたんだ。

龍村

君の夢はなに？

梨紗　　なんて、答えたんですか？

♪　　大人になるまで、生きること。

梨紗　　大人になるまで、生きること・・・

龍村　　すっごく屈託ない笑顔で言うんだ。頭なぐられた気分だったよ。自分はいったい、なにをしてるんだろうって・・・

梨紗　　それで、ボランティアや寄付を？

龍村　　大したことはできないけどね。自分のためにどんだけ金稼いだって、充実感とはかかれてる。でも、会社みんなで力あわせて利益を出して、それで社会に貢献できたら、なんていうか、喜びが増えるじゃない。みんなが笑顔になるじゃない。そのほうが、生きてる意味を感じられるんだよ。自分のほうが不思議と元気をもらう。

梨紗　　自分のほうが元気をもらう：

龍村　　若い頃は、とにかくお金を稼ぐことが人生のすべてだったよ。業界トップになること、店舗を拡大すること、利益をあげること、それが一番だった。部下にもね、お前ら年収2000万ほしいか、だったら俺についてこい！そうやって人を集めて。

梨紗　　でも、そんな人間関係は寂しいもんだよ。会社も、家族も・・・

龍村　　カンボジアの人は、今日を生きるために、家族を食べさせるために一生懸命働いて、少ない賃金を稼いでるんだ。

梨紗　　その絆はほんとうに強い。家庭のなかはいつも笑顔だよ。自分に足りないものに気づかされてばかりさ・・・

梨紗　　タツさん・・・

そこにトラーが、ポップー、ソリヤー、ポンルーをつれてやってくる。

龍村　　やあトラー（クメール語で）みんな元気かい？

トラー　　（クメール語で）まあまあ

梨紗　　（また身なりを気にして）やだ、あたし、こんな格好なのに。

子たち　　あ、えっと、こんにちはトラー。あ、えーと、チョムリアップ・スオ。

梨紗にまわりついてなつく。梨紗の近くで手遊びを始める3人。トラーはそっけない。

トラー 栄子は留守ですか？この前頼まれていたラジオの修理が終わって。これ。

箱を梨紗に渡す。

梨紗 ん？あ、ああ、栄子に渡しておけばいいのね。

(こどもたちに向かって) みんなー、元気だったあ？

トラー

梨紗 (龍村にむかって) クメール語ぜんぜんできないから、日本語の生徒さんとも全然まだ意思疎通できなくて。

龍村 最初はむずかしいよ。トラーも生徒なの？

梨紗 はい。でも、ぜんぜんしゃべってくれない。

龍村 トラー。(クメール語で) 話してみたら？

梨紗がいる間にもっと日本語で話してみたらどうだ？

トラー うまく話せないよ。

龍村 だから梨紗に習ってるんだろう？

トラー オキヤクサン、ドコマデノセマスカ？ハイ、5ドル、アリガトウ。

梨紗 すごい！上手になったじゃん！

トラー カンコウドウデスカ？イチニチ20ドル、アリガトウ。

龍村 ・ ・ ・ (梨紗に向かって) ずいぶん実用的な会話だね。

梨紗 そのほうが役立つと思って。

龍村 あとは？

梨紗 え？

龍村 これだけ？

梨紗 あ、えーっと、これからかな。まだ、これから。いろいろ。えへへ。

龍村 トラー、梨紗にもっと習ったらどうだ。いい機会じゃないか。これから日本人がどんどんカンボジアに進出してくる。日本語ができれば仕事になるぞ。

トラー だって、どうせまたすぐいなくなるんだろう？

龍村 あと2ヶ月ある。

トラー 日本人は来てもすぐ帰る。気分でボランティアに来るだけさ。

何を話してるのかわからない梨紗に、こども達が話しかけてくる。

ソリヤー リサ、ねえこれわかる？（手遊びしてみせる）

梨紗 え？なに？知らない。

ポッパ やって。一緒にやろう。（手遊びに誘う）

みんな やってやって（寄りかかってくる）

梨紗 わかったわかった。もうー、暑いのによけい暑いよ、あはは。

え？こう？こうするの？（手遊び）

そう、こうだよ。

ポッパ ぼくもつとうまくできるよ。

ソリヤー ポンルーはすぐ失敗するくせにー

ポンルー そんなことないよ！

梨紗 なになに？ケンカ？ケンカしないのー

梨紗が子どもたちと遊んでいる間に、龍村とトラーが話している。

龍村 トラー。ちゃんと食べてるのか。

トラー あれば食べるし、なければ食べない。

龍村 20人もの子たちをひとりで養うのは無理だ。お前だって働きづめじゃないか。前にも言ったけどこのNPOに支援をたのめば・・・

トラー 頼りたくないんだ。日本人には・・・

龍村 前のことならもういいじゃないか。あれは

トラー あの時思ったんだ。助けをあてにするのはやめようって。俺が、あいつらを守っていく。

龍村 そうか・・・でもあまり無理するな、あの子たちのために

本当に困ったら、ちゃんと人を頼るんだぞ。この豪太も栄子も、トラーの気持ちをちゃんとわかっているから寄付じゃなくて、運転手や修理の仕事を出して、応援してるんだ。

トラー ああ…。わかっている。

龍村 また近いうちにラーメン作りにいくよ。

トラー タツさん、いつもありがとう。
 (こどもたちに)もう行くよ。

一斉に走ってトラーのところへ集まる子たち。

梨紗 えーっ？みんなもう帰っちゃうの？

ソリヤー リサがね、遊んでくれたんだよ。

ポップー 手遊びを教えたの。

トラー そうか、よかったな。

とても優しい顔でじゃれあうように接するトラー。

ポップー またね、リサ。

ポンプルー また来るよ

梨紗 うん。バイバイ。じゃ、トラー、またね。

トラー (無言)

トラーとこどもたち去っていく。

梨紗 こどもたちにはあんなに優しい顔をするのになあ。

 なんの、話だったんですか？なんか深刻そうだった。

龍村 いや、あいつがね、ちよっと心配なんだよ。

梨紗 トラー……。トラーも孤児院で育ったって言ってましたよね。

龍村 ああ。幼いころに両親とも内戦で亡くなって、まえに孤児院を運営していた老夫婦に育てられた。その夫婦も亡くなって……。

梨紗 そうなんだ……。

 あの人いつも私に壁をつくる。言葉の壁とはちよっと違う、壁。

龍村 必死なのさ、この人間は誰でも。

梨紗 必死……。

龍村 ほかの国の人と仲良くなろうと思うなら、まずは知ることだよ、梨紗。

梨紗 知ること……。

■5 「知りたい」

♪

笑顔のかけに何があるの
守っているもの 背負っているもの

あの人たちともっと話してみたい
あの人たちと仲良くなりたい
もっと知りたい

トラーとこどもたちの去った後をみつめる梨紗。

【四場…孤児院への訪問】

こどもたちが思い思いの場所に座っている。そこへ梨紗が現れる。

梨紗　　ここで本当にいいのかな・・・すごく古い家、汚い・・・
薄暗い・・・電気もないのかな。こんにちはー！

ポンルー　　リサ！

梨紗　　えーと君は、ポンルー！この前会ったね！

ソリヤー　　私も行ったよ！

梨紗　　ソリヤー！こんにちは。（ポッパーに気づく）えーと、あなたは、
ポッパー！

ポッパー　　そう！

梨紗　　（ほかの子たちに）あ！空港に迎えにきてくれた

ティアラー　　ティアラー！

ニモル　　ニモル！

ラツケナー　　こんにちは、ラツケナーです！

ソムナーン　　ぼくはソムナーン

梨紗　　こんにちはー。（ほかの子をみて）大きい子もいっぱいいるんだ

タヴィー　　タヴィーです。このなかで一番年上なの。

カニヤー　　カニヤーです！

ソンプウ　　ぼくはソンプウ。

ダラー　　ダラーですよろしく。

リンダ　　あたしリンダ。

マカラー　　マカラーです。ほら、その3人も。

ねそべってるテイダー、カニカー、ナリーがそのままの姿勢で

テイダー　はい、あたしテイダー

カニカー　カニカー

ナリー　ナリー

タヴィー　パニヤーとスレイパウはお昼寝中。

熟睡してるパニヤーとスレイパウ。

梨紗　名前すぐに覚えられないけど・・・おいおいね！

ポンルー　リサ、ここに座って。

椅子をすすめる。

梨紗　ありがとう、でも、これに座るの・・・？（汚くてためらう）
さっきから壁のもようがなんか動いてる気が・・・しかもあちこちで・・・

ソンプウが1つつまんで梨紗の前にぬっと出す。

ソンプウ　これ？

梨紗　キヤーツ、ゴ、ゴ、ゴ、ゴ、ゴ、

ソンプウ　どうかした？

放り投げる。ギヤーツと梨紗がたちあがる。みんなが笑う。

梨紗　よくみんな平気でいられるのね・・・
（気をとりなおして）あのね、今日はみんなにお土産もってきたの
ー！

パッションフルーツのジュースを20個、カゴから出す。

テイダーとカニカーとナリーがまつさきに起きてやってくる！

テイダー　ジュースだ！パッションフルーツのジュースだ！

カニカー　やったー！

ナリー　これくれるの？

梨紗　私の大好物なの！みんなの分あるわよ。

全員群がる。ゴクゴク嬉しそうに飲む。
そのようすをみて、なんだか嬉しい梨紗。

梨紗　ねえ、ジュースってクメール語でなんていうの？

ラツケナー　なに？

梨紗　えっとー、これは、何？

ラツケナー　(クメール語で) tuk

梨紗　日本語ではジュースっていうの。ジュース

ラツケナー　ジュース。

梨紗　そう

■6 「ごどもたちとのふれあい 2」 (* 歌詞若干変更の可能性あり)

これは椅子　これは (クメール語で) brathan

これは窓　これは (クメール語で) bangauch

おいしい　(クメール語で) chnganh

うれしい　(クメール語で) sabbayr ikreay

好き　(クメール語で) sechakdei sraleanh

ダラー　ねえ、リサって何歳？

梨紗　なに？なに？

ラツケナー　私知ってるよ。栄子と同じ年だって。

マカラー　エーっ信じられない。

梨紗　だから何？！

タヴィー　私より年下だと思ってた。

ダラー　みんなで並んでみようよ。

梨紗をひっぱっていく。

梨紗 え？何よ？

みんなで身長順にならぶ。

ダラー やっぱりどう見ても15歳だ。

梨紗 もう！大人をバカにしたな！

大きい子が取り囲んで見下ろす。見上げる梨紗。みんなで笑う。

♪ 感じたことのない この親しみ
ひとつなつつこい笑顔に

思わずつられてしまう

お世辞にもキレイとはいえないこの家だけど
ここには 不思議なあたたかさがある

梨紗 きっとトラーが大事に育ててるんだね。

スレイパウ なあに？

梨紗 トラーのこと好き？（クメール語で）好き？

スレイパウ うん、トラー大好き。

♪ やさしさに包まれた 心地よい時間
こんな気持ちになるのは はじめて

そこへトラーが帰宅する。

みんながトラーのところへ行き、飛びつく。

しかし、梨紗と、ジュースの空き袋をみて、不機嫌になるトラー。

梨紗 おかえりなさい。

トラー 何しにきた。

梨紗 え？

パニヤー リサはジュースをくれたんだよ。

トラー 勝手にこないでくれ。

梨紗 なに？怒ってるの？

トラー 日本人は自己満足ですぐ勝手なことをする。こっちの気持ちも考えずに。

梨紗 なに？なんなのよ？

トラー 帰ってくれ

梨紗 わからない、なんで怒るの？

トラー でてけ！（ドアを指さす）

パニャー トラー、おこっちやだよ。

ソンプウ パニャーこっちおいで。

梨紗 ごめんなさい、気にさわったのなら帰ります。
みんな、またね。

気まずい空気のなか、梨紗、帰る。

【五場・メイクザヘブン事務所／雨】

豪太と栄子がいる。

豪太 いやーしかし、よく降るなあ。

栄子 雨期に入ったからね。

豪太 それにしても梨紗ちゃん、よく3ヶ月もったよなあ。

栄子 ほんとにねー、あの梨紗が。すぐネをあげて帰るかと思ったのに。

豪太 最初会ったときは「うふ」ってストローもって首かしげたりして、

いやこれはヤバイ、かわええなあって・・・

栄子 まあ梨紗はあの技で昔からモテモテでしたからね！

豪太 あらなに？ 栄子さん、やきもちですか？

栄子 違うわよ！

豪太 俺が好きなのは、化粧つ気ゼロで、アジアをバックバックひとつで旅するような気の一つよい女や。知ってるくせに。

栄子 はいはい。

そこへ梨紗がやってくる。

梨紗 はあ。大体荷造り終わったかな。あ、豪太さんこんにちは！ 来てたんですね。

豪太 フィリピンからね。このあとベトナムに行くよ。梨紗ちゃんがもうすぐ日本に帰るっていうから一言おつかれさん言おうと思って。

梨紗 そのために？ ありがとう！ ね、栄子、これ置いてっていい？

栄子 なにこれ？

梨紗 日焼け止めとか化粧品とか。いっぱい持ってきたけど全然使わなかった。汗で流れちゃうし、いいやって。よかったら使って。

栄子 私も使わないけど、いちおうもらっとく。ありがとう。これは？

梨紗 あーもうその服も着ない。なんか日本に帰ってそんな格好するのイヤになっちゃった。誰かにあげたいんだけどいいかな？

栄子 そっか・・・オッケー。寄付にまわすね。

梨紗 うん、ありがとう。

豪太 梨紗ちゃん、変わったなあ。生き生きしてるわ。

梨紗 なんだかね、今まで自分の外側をきれいにすることに一生懸命だった

ただ、
たんだけど、カンボジアに来てから、そんなの全然意味がな
いって思うようになったの。第一、どんなにおしゃれして化
粧しても誰もそんなとこ見てないし。ブランドのバッグ持
って、ひらひらの服着て、シーズンごとの化粧品の新色チェックし

人の評価ばかり気にしてた自分がものすごく窮窟に思えてきたん

だ。

栄子
梨紗・・・。

梨紗
ここは居心地がよかった！

豪太
えらいなあ。気づけたんやなあ。自分の天国に。

梨紗
自分の天国？

豪太
そうや。うちのZPOってメイクザヘブンっていう名前やろ。
そこに込めてるんや。天国はどつかにあって探すもんじゃない。
自分で作り出すもんなんや。その最初の一步が「気づく」ってこと
なんよ。

梨紗
気づく・・・。

栄子
クリスチャンの国に行くと、この名前不評なんだけどね「天国はつ
くるものではありません」って。

豪太
ええやないか！カタいこと言わんでも、なあ。世の中みんな、どっ
かになんかええもんあると思って、探し回って道に迷ったりして
けどな、自分で自分の居場所は作りだせるんよ。誰かが用意してく
れるもんじゃないんや。

梨紗
豪太さん、ありがとう。
豪太
ええ3ヶ月、送ったな。
梨紗
うん・・・でも、ひとつだけ、トラーと結局うちとけられなかつ
たのが、心残り。

栄子
トラーは仕方ないのよ。
梨紗
どうして？

以前ね、別の団体の日本人ボランティアがああ孤児院を支援してて
子ども達が母親のようになつてた。でも、ある日突然、その人の
都合で急きよ帰国しちゃったの。
梨紗
へえ・・・

栄子 あの子たちもトラーもとても傷ついたのでよ。孤児っていうのは、自分の肉親と別れるっていう経験を一度しているから、ふつうの何倍もつらかった。

梨紗 そうなんだ・・・
栄子 だから今は、少し遠くから見てることにしてるの。

豪太 ここに住んでこの人達のために働こうと思ったら、自分の人生ぜんぶ賭けるぐらいの気持ちがないと続かないんや。何かあったら帰ればいいっていう程度じゃ、結局日本人はお金めぐんで、自分の気のすむようにボランティアにやってくるとしか受け止められない。

栄子 だから私はここに住むことにしたんだ。
梨紗 栄子、ほんとうに偉いね。それはさ、栄子の天国をここに作ったっていうことなんだね。
栄子 梨紗…。

そこへトラーが、スレイパウをかかえて飛び込んでくる。

トラー 助けてくれ！
梨紗 スレイパウ！どうしたの？！ひどい熱・・・
トラー 頼む、助けてくれ！

栄子 そこに寝かせて。すぐ医者を呼ぶから。ああ、でもいつ来てくれるかわからないから、こっちから迎えに行ってくる！
症状はいつから？

トラー わからない。気づいたらぐったりしてて・・・
豪太 流行り病か？

トラー 他の子はいまのところ熱は出ていない。
豪太 そうか。とりあえず応急処置だ。

梨紗 あ、あ、私、なにすれば。
栄子 頭を冷やしたほうがいいわね。
豪太 ああ、氷を買ってくる。梨紗ちゃん、スレイパウ、頼むよ。
栄子 お医者さん連れて戻ってくるから！
梨紗 う、うん！わかった！

トラー スレイパウを、助けてくれ！
豪太 大丈夫だ、トラー。：ここへ来てくれてよかった。待ってる。

梨紗は寝ているスレイパウの横にいる。

梨紗 スレイパウ：大丈夫よ、大丈夫だからね。

トラー くそう！俺は何やってたんだ。

苛立つトラー。

梨紗 トラー！大丈夫よ。気をしっかり持って。

スレイパウ (うわごとで) ママ、ママ……

梨紗 スレイパウ……(手をにぎり、額の汗をふく)

梨紗が必死にスレイパウの手を握るのを見ているトラー。
スレイパウが手を伸ばす。

梨紗 トラーもこっち来て。手を握ってあげて！ほら！

トラーが急いでスレイパウのもとへ来て、もう片方の手を握る。

トラー スレイパウ。ごめん、ごめん！

スレイパウ パパ、ママ！

梨紗 スレイパウ……。

トラー 梨紗……。この前はすまなかった。

梨紗 えっ何？

トラー オークン。ありがとう。

梨紗 トラー……。大丈夫、スレイパウは絶対助かる！豪太さんと栄子を

信じよう！私たちにはそれしかできないけど。ね！

トラー

梨紗。

ほら、そんな顔してたらスレイパウが心配しちゃう！笑って、ね！
スレイパウ。大丈夫よ。大丈夫だからね。

■三ツ「私にできること」

手をにぎることしかできない

この国で 小さな命を守るのは 簡単じゃない

私には なんの力もないの？

できることは なんにもないの？

【六場：CCMHA 孤児院誕生】

孤児院に、梨紗、栄子、豪太が集合している子どもたちが梨紗のまわりに集まっている。スレイパウは元気になり、遊んでいる。

梨紗　スレイパウ！元気になったのね！よかった。

栄子　他の子の感染もなくてひとまず安心したわ。

トラー　ありがとうございます。

栄子　でも、トラー。みんな栄養失調よ。

トラー　・・・・・

栄子　すぐにお米を持ってくるわ。あと、日本に緊急で支援物資も手配する。

トラー　いや、そういう訳には

豪太　なにいつてるんや、水くさいやないか。ここは意地はってる場合やない。

トラー　でも

栄子　このままじゃ、みんな命があぶない。・・・あなたも限界なはずよトラー。

トラー　豪太　とにかくこれから継続的に支援できるようにしよう。でもあれだな、

トラーが昼も夜も働いてるわけだから、子どもたちの世話をする人が誰か必要だ。

日本からボランティアを募集する？

豪太　いや、それだと時間かかるからな、こっちで人を1人雇ったほうがいいだろ

私、帰らない！！！！

・・・梨紗？！

梨紗　お願い、私をこのスタッフにしてください。私が、ここで、この子どもたちの面倒を見る！トラー、私がここに住む。いい？

リサがここに住む？初めて話の意味がわかって、うれしそうにざわざわする子どもたち。

トラー　梨紗は帰るんだろう。

梨紗　ううん、帰らない。ずっとここにいる。

トラー　そう言っても日本人はやっぱり

梨紗　帰らない！！！！

栄子　梨紗・・・

梨紗 私は日本人だけど、帰らないよ！！！トラー、私を信じて。私は絶対に帰らない。私がこの子たちを育てる！！

豪太 ・・・・梨紗ちゃん、その気持ちは立派やけどな・・・本気で本当にカンボジアで暮らすことは大変なことや。いっぺん日本に帰って、親御さんともよく相談して、落ち着いて考えてみたほうがええんじゃないか？途中で投げ出すなんてことになったらそれこそ

梨紗 投げ出したりなんかしないよ・・・この手を、私の手をぎゅっと握ってくれるこの手を離すことなんかできない。
みんな、こんなにお腹をすかせて。
でもトラーのことがみんな大好きだから笑って暮らしてる。
トラーに守られてるから、みんなこんなにいい顔してる。
この子たちのこの笑顔が好きなの。なんとも言えない、愛おしい気持ちになる。この子たちを守りたい。

栄子 梨紗・・・

梨紗 お願い。誰かスタッフが必要なら、私にやらせてください！
母親の代わりにはなれないかもしれないけど、私はお母さんになるつもりでがんばりたい！

豪太 いや、そやけどな
栄子 豪太、梨紗にまかせよう。
梨紗 栄子！

栄子 私がカンボジアに住もうと決めた時も、同じ気持ちだった。当時、豪太とほら、もっと田舎のほうで井戸を掘ったりしてたじゃない。あの時、その村の子どもたちとふれあって、あ、私の場所はここだって思った。

豪太 そうか・・・
栄子 トラー。梨紗なら、もう一回信じてもいいと思うよ。
トラー 栄子・・・

栄子 子どもたちもあんなに梨紗になついでるし。あなたも梨紗なら安心できるんじゃない？

ポンプルーがたまらず口を挟む。

ポンプルー ねえ、リサがここに住むの？
タヴィ あなたは口出さないの！

スレイパウ リサ、ここに来てほしい。

それをきっかけに私もぼくもと口々。

梨紗 みんな・・・。
トラー わかった。梨紗にきてもらおう。

やったー！！とみんな。

梨紗 トラー、ありがとう。よろしくお願いします。
トラー よろしく。

豪太 よおし！じゃあ、この孤児院の新しい出発だ！名前決めようか。
梨紗 名前？

豪太 こここの孤児院、名前ないだろ？

栄子 そうね、正確にいうと、以前孤児院だったところに、そのままトラーとこの子たちが住んでるだけだから・・・。

豪太 そう、だからまず、いい名前をつけよう。

梨紗 メイクザヘブンは？天国を自分でつくる話、あれ私大好き。

栄子 ちよっと直接的すぎない？カンボジアはよく頭文字をとってつけるのよ。たとえば、Cambodia's Children Make the Heaven Association。CCMHA 孤児院。

梨紗 CCMHA？なんだかながいなー、うーん、CCMHA、無理やり日本語で読んだら・・・くっくま？

みんな くっくま？

栄子 いいんじゃない？くっくま孤児院、なんだか可愛い。

梨紗 くっくま孤児院、いい！！みんな、今日からここは「くっくま孤児院」っていう名前になりましたー！

イエー！くっくま、くっくま！とみんな騒ぎ出す。

ティダー 梨紗、今日からよろしく！
ソンプウ これがいっぱいいるけど大丈夫？（ゴキブリをつかまえて目の前に出す）

梨紗 キヤーっ！・・・うん、慣れるよ・・・

■ 80 「一緒に暮らそう」

ぼろぼろだよ 雨の日はそこらじゅうで雨もりポツポツポツ
夜中のトイレはこわいよ 明かりをつけたとたんゴツキーがザーザー

だけどここが ぼくたちの家 リサがくるならきれいにするよ
ほこりだらけの壁を磨いて そう 絵を飾ろう うまい奴がいる

米びつが空っぽになっても 心のなかは空っぽじゃない
トラーが守ってくれる みんな家族 だから辛くなんかない

今日からはリサも一緒さ なんて嬉しいんだ みんな大喜び
好きなこと得意なこと それぞれある みんないい奴さ よろしく！

さあここで暮らそうよ みんなと一緒に
どんなことも笑えば 楽しくなるよ この仲間と！

さあここで暮らそうよ みんなと一緒に
どんなことも笑えば 楽しくなるよ この仲間と！

大好きな人たち いる場所こそ パラダイス！

HEY! HEY! HEY!

【七場…日本。龍村の家】

雪がくらしいところに一人。

■三〇「雪のくるしみ」

ああ 悲しいことなんて
感じなくなるくらい
心が硬い石になればいい
暗い部屋 青白いディスプレイ
ゲームで勝っても気が晴れるわけじゃない
こんなの ただの時間つぶし

龍村がはいってくる。

龍村 雪。調子はどうだ？
雪 (目をあわさずに話す) 帰ってきたんだ。

龍村 シンガポール行ってたよ。いつも留守でごめんな。
雪 べつに。

龍村 ・・・元気か？
雪 うん

龍村 ずっと部屋にこもりっぱなしで、身体なまるだろ。少し外の空気でも吸
雪 ったらどうだ。
雪 適当に、コンビニとかいってるし。

龍村 そうか・・・。あのな、パパは公立の中学に転校してもいいと思うぞ。
ママはせっかく受験して私立にはいったのに、って言ってるけど、大事
なのはお前の気持ちだ。そのの公立なら、小さい時からの友達もいるだ
ろう？

雪 そうだけど・・・
龍村 それも嫌なのか？
雪 もう、ぜんぶめんどくさい。

龍村 めんどくさいってなんだ。自分の人生そんなふうには言っちゃだめだ。
雪 またそうやって熱くなる、うざい。

龍村 うざいってなんだ！
雪 ・・・いいよもう。
龍村 そのまま出席日数足りなくなって退学になったら、どっちにしる転校だ

ぞ。

雪 それでもいい、どうせ行かないから。

龍村 雪……

雪 もう考えたくない。人間関係とか、もうやだ。

龍村 ……そうか。

雪 そう。

龍村 ……なあ、雪、出席日数ってあとのくらい猶予あるんだ？

雪 あと8日休んだらアウト。

龍村 あと8日か。よし、じゃ、まだ大丈夫だな！一緒にいくぞ！

雪 （初めて龍村を見る）行くってどこへ？

龍村 海外旅行だ。パパの仕事を手伝え。ほら！立って！行くぞ！
雪 ちよ、ちよっと何！今から？

【八場…くつくま孤児院】

にわたりの声で朝。

梨紗が鍋をガンガンたたきながら、入ってくる。

梨紗 朝だよ、はい起きて起きてー。

パニャー 梨紗おはよう！

既に起きてる小さい子たちが走り回ったり、既に遊んだりしている。

梨紗 小さい子たちのほうがスカッと起きて偉いねー。はいはいメンズたちも起きてー

男の子たちの布団をひっぱがす。

ダラー なんで5時に起きなきゃならないんだよー

梨紗 早寝早起が生活の第一！

眠そうだがとりあえず起き出すメンズたち。

リンダが鏡の前で髪型を気にしたり、ポーズをとったりしている。

梨紗 うん、リンダ。きょうもきれいよ。

リンダ ありがとう。

ラツケナー、カニャー、タヴィが、小さな女の子たちの着替えを手伝ったり髪を結んだりしている。

梨紗 おはよう。えらいねーお世話してくれて。助かっちゃう。

そこへトラーが起きてくる。

梨紗 おはようトラー。きょうは何時から仕事？

トラー ああ、早朝便で着くお客さんのお迎えだから、もうすぐかな。

みんなトラーにまわりつく。トラー遊ぶ遊ぶ。じゃれあって遊ぶ。
はっ？と誰かがいないことに気づく梨紗。

梨紗 あっ、あの子たちだったら、まだ寝てる！！ティダー！こらー起きな

さい。ほら、カニカーもナリーも。

すでに、ラツケナーが起こそうとしている。

テイダー

あとちよつと。

梨紗

あとちよつとじゃないわよほら！

テイダー

だって眠いんだもん。

ラツケナー

おきなよ、テイダー。

テイダー

うるさいなあもう。

梨紗

毎日テイダーがいちばん遅いんだからね。みんなシャキッと起きるんだから。また食事当番ラツケナーがかわってくれたじゃない。

テイダー

いいじゃん得意な人がやれば。

梨紗

テイダー、そんな言い方だめよ。

テイダー

だいたい早起きしてなにするのよ。学校行くまでまだ時間ある。

ラツケナー

日本語と英語の勉強でしょ。みんなやってるんだよ。

テイダー

あーだめだめだめ。私勉強できないもん。ラツケナーがやつといてよ。

ラツケナー

テイダー！

梨紗

そんなことばかりいって。やらなきゃできないの当たり前じゃない。ほらナリーも！

ナリー

起きてるよ。

梨紗

起きてないでしょ。横になってるのは起きてるとはいわないの。

ナリー

いま起きてる途中。

梨紗

もう、ほんつとノロノロしてるんだからナリーは。・・・ちよつと
その服の山の中で寝てる人だれ？

カニカー

ふわーい

梨紗

カニカー。みんなちゃんとたたんでるでしょ。見なさい！もうー女の子なのにならしないんだから。

カニカー

あ、片付けないで。それちゃんと置き場所決まってるから。

梨紗

これで？！だいたいこれじゃ、脱いだ服と洗った服の区別つかないじゃない。

カニカー

そう？私つくよ（においをかぐ）あ、これまだ大丈夫。ほら（梨紗に差し出す）

梨紗

もうやだあ！

時間の経過。
夕方。

みんなそれぞれの部屋で過ごしている。

男の子部屋。ソンポウが服をきれいにたたんで持ち上げると、ぼろっとブラジャーが落ちる、

ソンポウ うおおおおおっ！なんだこれは！
パニャー なあに？！

そこにタイミングよくダラーが部屋に入ってくる。

ダラー おっお前、何持ってたんだよ！

ソンポウ いや、ここに挟まってたんだよ！！

ダラー だれかの洗濯物か？

ソンポウ だれかって、、だれのだ？

ダラー リンダの、か？！きつとリンダのだ！

ソンポウ なんでこんなところにまぎれてるんだよ！

ダラー こっそり返してきたほうがいいぞ。

ソンポウ やだよ、お前いつてくれよ、たのむ。

ダラー なんで俺だよ、やだよ、取ったと思われたらどうすんだよ

ソンポウ そうだよこんなの見つかったら・・・やべえ！

隠し場所を探そうとしたり、持って行こうとしてやめたり、ブラをもつてうろたえる2人。
そこへパニャーがくる。

パニャー どうしたの？

ソンポウ おおおお！なんでもない

ダラー なんでもないよーパニャー、こっちへおいでー

そこへ、リンダが帰ってくる。

リンダ ただいま。

ソンプウ やばい！リンダが帰ってきちゃった！
ダラー くそう、返すタイミングなくなっちゃったじゃねーかよ！

梨紗 リンダ、帰りが遅いよ。どこいったの？

リンダ 友達としゃべってた。

梨紗 食事のしたく当番だったでしょ。タヴィが代わりにやってくれたんだよ。

リンダ そ。

梨紗 そ、じゃないよ。ボーイフレンドはまだ早いつて言ってるでしょ。

リンダ そんなんじゃないってば。

梨紗 くつくま孤児院は恋愛禁止だからね！支援を受けさせてもらってるんだから、しっかり勉強してちゃんとしないと

リンダ わかってるって！

リンダ、部屋にこもってしまう。

梨紗 リンダ：（扉の前に立つがそれ以上のことはせず去る）

そこへ、ソリヤー、チェンダー、ニモル、ティアラー、スライリンそわそわと、集まり出す。

（ ）リンダどうしたのかなあ。

（ ）帰りが遅いから梨紗におこられたんだよ。

（ ）いままでそんなことなかったのにね。

（ ）泣いてるかも。

（ ）えーっ、

（ ）ねえ、リンダー（ドアごしに声をかけようとする。そこへマカラーや

ってくる)

マカラー いまはそっとしといてあげて。

() マカラー。

() だってリンダ泣いてるかもしれない。

マカラー いいの。女にはね、そういうときがあるの。

() ん？あたしたちだって女の子だけど？

マカラー 恋をするとね、変わるのよ。

() 恋？

5人、ふしぎそうにワクワクしながらマカラーのところに集まってくる。
(この会話のあいだ、リンダはひとり部屋で話の内容と同期した行動をとる)

マカラー みんな好きな男の子はいる？

() うーん、同じクラスのトンウオは好きだよ。サッカー上手だし。親切だし。

() わたしもー。かっこいいよね。(みんなうんうんと同調)

マカラー そうね、それが、この胸の痛みの始まりなの。

気づいたら彼を目で追っている、

会っていない時もいまなにしているのかなって気になる、

もう頭のなかは彼のことばい、

ああ、彼の手に触れたいけど！・・・触れられない、

これはもう、病ね。

() やまい？

マカラー リンダはいま病にかかっているのよ。

() 病気？それ大変！

() リンダ！(リンダの部屋へ行こうとする)

マカラー (おちついて抑える) いいの、大丈夫。リンダ最近きれいになったでしよ。

() リンダはいつもかわいくて、きれい。

() わたしもリンダみたいになりたい。

マカラー になれるよ。恋が女の子をきれいにするの。おとなの階段をのぼっていくのよ

() おとなの階段?!どんな階段?

() どこにあるの?

マカラー (胸に手をあてて) ここ。一段ずつ登るたび、ときめいて、切なくて、

でもそれが素敵なレディになるために必要なステップなのよ。

() えー、そんな素敵な階段なら私ものぼりたい。

() リンダもその階段を登っているの?

マカラー そう。みんなのぼるの!

() じゃあ私も?

マカラー そう!

() 私もおとなの階段のぼりたい

・MIRIO「すてきなレディになりたい」

AH HA 大人の階段

あたしもいつかのぼるの?

() リンダみたいに

(マカラー) キュートでセクシー

(全員) すてきなレディになりたい

() ねえ、彼氏ってどういうもの?

(マカラー) あの子が私を好きで 私もあの子が好きってことよ

(マカラー&リンダ) 並んで歩くだけで ハートが破裂しそうな

(Girls) それでそれでどうなっちゃうの?!

(マカラー&リンダ) 手をつないで歩けるときを ただ夢見るだけ
わくわくしちゃう 恋のおはなし
もっと聞きたい知りたいけど

梨紗のモノマネで」「くっくま孤児院は、恋愛禁止！」

アア！リンダは大ピンチ！

（ ）いつか私にも 心ときめく日がやってくるのかしら
（ ）でも今は・・・

そこへパニヤーがブラジャーをもって飛び出してくる。

ソンプウ おい！待て！

ダラー ああもう終わりだ～～～

マカラー あ、これあたしの！探してたの～！

2人 お前の？！

マカラー そ、かわいいでしょ。お気に入りなのよ♡

ソンプウ 助かった・・・

ダラー よかった、お前ので。。

脱力するソンプウとダラー。ニッコニコのマカラー。わくわくのGirls。恋に悩めるリンダ。
ステージ上の全員で最後のフレーズ。

エンディング 大人の階段

みんなもいつかのぼるの

梨紗がそこへ、大きなダンボールをもってくる。

ポンルーがすかさず手伝う。

梨紗 みんなー、日本からの新しい支援物資が届いたよー。

わーい、とみんな喜んで集まる。服がある中にサッカーのユニフォームが4着入ってる。

ダラー サッカーのユニフォームだ！

ダラーとソンプウとポンルーとカニカーがさっそく着る。

梨紗 ん？うしろみせて。

4人がうしろをむくと、全員背中に「KENTA」。

梨紗 ……うーん、全員けんたくん。。。けんたくんの家からの寄付ね。

ま、いつか！

箱を覗くポンルー。

ポンルー サッカーボールだ！

うわーと群がる子たち。トラーががぜんはりきってやってくる。

トラー 見せて見せて。うわあ、久しぶりだなあ、サッカーボール。俺こども頃得意だったんだよ。

ダラー 俺サッカー選手になりたい！学校でいちばん上手いんだ。トラー ダラー、俺と勝負するか！

ソンポウ 俺もやる！

私も！

ポンルー 僕も！これでもいちおうサッカーは得意・・・
ソンポウ 危ないからあっちいってろ

・≡11 「夢はサッカー選手」

リフティング・・・
ドリブル ドリブル・・・

(トラー) 対戦しようぜ 俺を抜けるかな？

(ダラー)

カンボジアンタイガーに入りたいたんだ
給料は工場で働く人の5倍

だけどカンボジアは 今は弱小チーム

「FIFA世界ランキング184位

長いこと サッカーどころじゃなかったから
だけどきつとこれから強くなる
スターになれるチャンスだ

(ダラー、ソンポウ、カニカー、ポンルー、パニヤー)
スタンドの声援に ダラー！ダラー！
俺がきめるぜ ダラー！ダラー！

そして夢はカンボジア代表
スタンドの声援に カンボジア！カンボジア！（しだいにみんな入ってくる）
俺がきめるぜ カンボジア！カンボジア！
カンボジアンファイト！ゴー！ゴー！ゴー！

ソムナーンが横でおとなしくみてる。その横にポップパーとスレイパウもい
る。

梨紗が話しかける。

梨紗 ソムナーンはサッカーしないの？

ソムナーン ぼくはみてるほうが好き、運動は苦手なんだ

ポップパー ソムナーンは絵がじょうずなんだよ

梨紗 ポップパーは何書いているの？

ポップパー 日本語。

梨紗 ほんとだ、あいうえお。きれいにかけてるね。はい、よくできました。花まる！

ポップパー 花まる！？うれしい！

ソムナーン ぼくも梨紗をかいたよ。

梨紗 うわー。似てる？ありがとう。はい、ソムナーンも花まる。

スレイパウ スレイパウもはなまるかけるよ、ほら

梨紗 ほんとだ、上手ね。

スレイパウ （トラーに書いた花まるを渡す）トラー、はい、花まるあげる。

トラー 花まる？

梨紗 くつくまの子はみんな、それぞれ、花まる！

みーんなそれぞれ、好きなことや得意なことがあって、すごいね。
それを生かして、夢を叶えられたらいいね。

トラー 夢？

梨紗 そう。なりたい職業になるっていうことかな。

トラー ダラーはサッカー選手になりたいんでしょ。なればいいよ。
なればいい？

梨紗 そう。あ、でも私は、日本ではそんなこと考えもしなかった。

でも、この子たちを見ると、これからのカンボジアでなら

どんなことも不可能じゃないっていう気がしてくるんだ

トラー 不可能じゃない…。

梨紗

そうだよ、トラー。応援してあげよう？本気で、この子たちの夢。
(こども達のほうを向いて)みんななりたいたいものになれる！

47

タヴィ

私は医学部に行つて医者になりたい！

梨紗

タヴィ、すごい！

ソンプウ

ぼくは建築家！

梨紗

うん！カンボジア、これからいっぱいビル建つからね！

タニヤ

私とラツケナーは教師だよ、ね。

ラツケナー

うん：

梨紗

そっかあ。

テイダー

私は、歌手かなあ。

ニモル

ええ？テイダーが？

テイダー

なんか文句ある？

梨紗

テイダー、芸能界は遅刻厳禁よ。

テイダー

あ、やばいかもー。

リンダ

私はモデル。

ソリヤー

うん、納得。

チェンダー

私もモデル。

ソリヤー

あ、私もモデルって言おうとしたのに！

ナリー

私は幼稚園の先生がいいなあ。

カニカー

私は看護師さん。

ティアラー

えっ？あんなに部屋が汚いの？

カニカー

なんだと！

梨紗

また、けんかしないの！

みんなで笑う。トラーも嬉しそうに笑っている。

■ 12 「みんなはなまる」

(ソムナーン、ポップパー、スレイパウ)

夢を見ていいんだね

好きなこと 得意なこと

それぞれある それぞれ違う

それぞれに夢を持っている

リサがいてくれる

それでいいよ、って言ってくれる

もつとやれ、って言ってくれる

こんな楽しいこと いままで考えてもみなかった

みんな はなまる

ぼくらははなまる

心のなかに ひとつずつ

大きく咲かせよう

ラッケナーが一人、寂しそうに輪から外れている。それに誰も気づかない。

【九場…くつくま孤児院と雪と】

にぎやかにやっているとところへ、龍村がラーメンの寸胴を持ってあらわれる。雪と一緒に。
雪はとまどっている。

トラー タツさん！
龍村 やあ、みんな！

タツさん、タツさん。とみんな集まってくる。

龍村 元気だったかい？きょうもラーメン作ってやるからな。

梨紗 タツさん、久しぶり！

龍村 梨紗！すっかりここの生活も板についたみたいだな。

梨紗 そう？もう、毎日こんなカツコだからね！

雪 雪ちゃん？はじめまして！お父さんから聞いたよ。よろしくね。

龍村 えっ。はい…

龍村 みんな！これは雪。俺の娘だ。仲良くしてやってくれ。

ユキ、ユキ、とみんなまとわりつく。

雪 ちよつと…

龍村 雪、挨拶するんだ。教えただろ。

雪 こんにちは…チョムリアップ…スオ…

龍村 世話になるよ。

梨紗 大丈夫！こっちは20人も21人も同じだから。なんのおかまいもし

ないよ、いつもどおり。ね？トラー。

トラー ああ。

龍村 ありがとう。あいつに、何か伝えればいいと思って。

言葉じゃ、難しくてさ…。

梨紗 うん。きっと、この子たちが伝えてくれるよ。

私がそうだったように。

龍村 ああ。（雪に向かって）雪、ほら、こっち手伝ってくれ。

龍村がラーメンをつくる。みんなに配るのを雪がおろおろしながら手伝う。
みんな夢中になって食べている。

（ ） （ ）ユキ、おいしい！

雪 あ、日本語…？
梨紗 そう。この子たちは毎日日本語勉強してるの。だいぶ通じるから心配ないよ。

雪 () ユキ、アリガトウ。
あ、ありがとう。えへ…

龍村 くつくま孤児院になってから、みんな顔色が良くなったなあ。
梨紗 毎日2食、ちゃんと食べれるようになったから。お米も野菜もお魚も。

龍村 背も伸びて、体格もどんどん良くなって。
がんばってるな、梨紗。ちゃんとお母さんやってるじゃないか。

梨紗 毎日全員起こして学校行かせて夜寝させるまでもう必死！でも楽しい。
い。

龍村 そうか。おい雪、じゃ、パパ行ってくるから。
雪 えっ？

龍村 一週間たったら迎えにくる。

雪 ちよっ…パパの仕事を手伝いにきたんじゃ…

龍村 こっちのほうが楽しいだろ。

雪 いや、でも…
龍村 じゃあな！いってきます。

いってらっしゃーいとみ送るみんな。

雪 なんなの、勝手なんだから。ここに…一週間？
梨紗 よろしくね、雪。

雪 あの…ここに、泊まるんですか、私。

梨紗 そう。女の子たちの部屋に一緒にね。

雪 ここって…もちろんエアコンないですよ。

梨紗 ないよ。ついでに冷蔵庫も洗濯機も掃除機もない。

雪 まじか…

梨紗 まあ一週間、あきらめて楽しんでみたら？

雪 はあ…

雪 () ねえ。ユキの名前は、日本語でどういう意味？

雪 えっと、雪。雪ってわかる？

雪 () ん？
雪、みたことないよね…えっと、なんていえば…

梨紗がクメール語でみんなに説明している体。

梨紗 日本では、冬になると、雨が空で凍って、かき氷みたいのが空から

ソムナーンが話を聞き、急いで皆に知らせに行く。

梨紗

そんなの駄目だよ！だってラツケナーはまだ13歳じゃない。働くっていったいどんな仕事が：

トラー

仕方ないよ。

梨紗

仕方ないであきらめられると思う？！
なんで自分の子を、育てられないからって捨てたり、働けるようになったからって引き取りにきたり。ラツケナーは物じゃないのよ！

数人のこども達が走りこんでくる。雪もいる。

(ティダー、ナリー、カニカー、カニヤー、ソンプウ、ソムナーン、雪)

ティダー

ラツケナー。あんた何考えてんのよ！

ラツケナー

ティダー。

ティダー

あたしに何の相談もなしに、なに勝手に決めてんのっていつてるのよ！

ティダーがラツケナーにつかみかかる。他の子が止める。

ソンプウ

ティダーおちつけ。

ティダー

ラツケナーは、あたしなんかよりずっと勉強が出来て、なんでも得意で、学校の先生にもきつとなれる。ここを出ていったらもう夢は叶わないんだよ？！

ラツケナー

私も、本当はここにいたい：いたいよ。

ティダー

もう少し、待ってもらおうよ。大人になるまで。そしたらいくらでも、お母さんに楽させてあげられるじゃない。

ソンプウ

どうにかならないの？トラー。

トラー

(だまって首を振る)

ティダー

本当のお母さんは、これからもずっと本当のお母さんでしょ。ラツケナーは本当の家族がずっといるでしょ。

だったら、大人になるまでの間、あと数年、私たちと一緒に家族として、暮らせないの？それはだめなの？

梨紗

ティダー・・・

泣きじゃくるティダー。

ラツケナー

ティダー、ごめんね。

う。

私がお母さんを助けないと、お母さんもおばあさんも死んでしま

梨紗

だったら！ラツケナーの家に私たちがお金を送ればいいじゃない？
そ、そしたらラツケナーもここにいられるし、お母さんも病気を直して

トラー

梨紗。それはだめだよ。

梨紗

どうして？

トラー

それはしちゃいけない。カンボジアじゅうの貧しい親が、ここへ子どもを預けにきてしまう。それは誰のためにもならない。

梨紗

……

トラー

梨紗。どうしようもないんだ。ラツケナーも、よく考えて出した結論なんだ。俺たちにはもう、どうすることもできない。

梨紗

これが現実なんだよ。

トラー

私には、何もできないの？

梨紗

梨紗。

トラー

私だって、いつしようにけんめいラツケナーを育ててきた。

梨紗

先生になる夢を叶えてあげよう、トラーとふたりがんばって、大学

トラー

行かせてあげようねって言ってたじゃない。

梨紗

ねえ、私たちは、ほんとうの母親には勝てないの？

トラー

俺だって辛い。辛いけど

梨紗

トラーみたいに割り切れないよ！

トラー

……割り切ってなんかいかないよ。

梨紗

トラー……

トラー

俺だって、俺だって、悔しい。どうしようもないんだ。どうしようもないんだよ。

梨紗

トラー……

ラツケナー

梨紗、トラー。ごめんなさい、ごめんなさい。

トラー

いちばん辛いのは、ラツケナーだ。

梨紗

ラツケナー……

全員が泣いている。

一部始終を見る雪。

♪ (≡追加？雪？)

みんなが泣いている

別れの哀しみにくれている

親のない子 親のいる子

背負っている現実

自分の力では変えられない現実

ラツケナー出発の日。

ラッケナー 元気でね。梨紗・・・今まで、ありがとう・・・
梨紗・・・待つて、やっぱり行かないで。行っちゃいやだ。

ラッケナー お願い。お願いラッケナーここにいて・・・
梨紗・・・
トラー もう、行かないきゃ。向こうにつくのが夜になる。
ラッケナー (うなずく)

行きかけたラッケナーに思わず梨紗が叫ぶ。

梨紗 待つて！！ラッケナー！

泣き顔で振り向くラッケナー。

ラッケナー さよなら！梨紗！さよなら！さよなら！くつくまのみんな！さよなら！

手を振る梨紗。みんな泣きながら見送る。ラッケナーはトラーに連れられて去っていく。

梨紗 私だつて、こんなに大事に育ててるのに。大事な、私のこどもなのに・・・。

ソンポウ 梨紗、だいじようぶ？
梨紗 私だつてお母さんなのに・・・なんの力にも、なつてあげられなかつた・・・

どうして。どうして・・・

梨紗、外へ走り出て、叫ぶ。

梨紗 ラッケナーーーーーー！！

もうラッケナーの姿はそこにはなく、声は届かない。

梨紗をそつとしておいてあげようと、その場から離れるこどもたち。しかし梨紗は、家の中に戻らず、そのままふらふらと外へ出て行く。

ひとりさまよう梨紗。
雨がふってくる。

■13 「哀しみのスコール」

スコールが止めば
なにごともしなかつたように また太陽は照りつける

けれどあの子は もう帰らない
身体の一部を失ったような 痛み 悲しみ
涙は乾かない

私が母親なら絶対に我が子を手放したりしない
私は母親だからあの子を育てて夢を叶えさせてやりたかった
ほんとのママには、なれないの・・・？

(後奏つづく)

くつくま孤児院ではこども達が不安そうにしている。
そこへトララーが帰ってくる。

カニヤー トラー!

トララー お前たちまだ起きてたのか・・・梨紗は?

ナリー トラーとラツケナーが発発したあと、出て行って、帰ってこないの。

ソンプウ 探しにいこうとしたんだけど・・・

カニヤー こんなに遅いなんて。

トララーが飛び出していく。

ソンプウ トラー待って!俺も!

ソンプウのところへ、俺も私もと集まってくる。

ソンプウ わかった、みんな、わかった。もう夜もおそいから、テイダーとカニヤーは小さい子たちを寝かせて。

テイダー でも・・・

ソンプウ ダラーたちは、梨紗が帰ってくるかもしれないから、ここで待ってるんだ。おれと、カニヤーとナリーで、探しに行く。大丈夫、まっつて。

ダラー わかったよ。

ソンプウ、カニヤー、ナリーは出発し、他の子たちは部屋へ入る。
3人で、慣れない夜の街を走る。

3人 梨紗ー!梨紗ー!

ナリー どこへ行ったんだろう・・・

カニヤー ・・・・きつと、あそこだ。

ソンプウ どこ?!

カニヤー パニヤーの幼稚園の隣にあるお寺。

ナリー　　そうだ、梨紗はなんかあるといっつもあそこの境内に座ってる！
ソンプウ　そこだ！行くぞ！

3人走り去る。

【十場・お寺】

お寺にたたずむ梨紗。
そこへトララーが息を切らしてやってくる。

梨紗　トララー！
トララー　こんな遅くまで、なにやってるんだ・・・
梨紗　ごめん、、、なんだか、いつものようにしていられてなくて。
トララー　・・・。
梨紗　私がつてきたことつて、なんだったのかなあ。
こんなに簡単に、いなくなっちゃうなんて・・・

トララーが梨紗を抱きしめる。

梨紗　トララー？！
トララー　お前はいなくなるな。
梨紗　もう、誰もいなくなるらないで・・・。梨紗、ここにいて・・・。
トララー・・・。
梨紗　はつと我にかえり、トララーが梨紗から離れる。

■M14 「オン・スロライン・ボン」intro in

恥ずかしそうにしているトララーを見て、梨紗がちよつと笑う。

梨紗　ありがとう。
トララー　いや・・・。
梨紗　どうしてここにいるつて、わかったの？
トララー　落ち込んでる時、いつもここに座ってるだろ。
梨紗　そっか。知ってたんだ・・・。

そこへソンプウカナリナーが到着して2人を見つめる。

ナリナー　あつ梨紗・・・

カナリナーとソンプウが「シート」。気づかれないように物陰からみている。

梨紗　ほんとうのお母さんじゃなくても・・・
トララー　ん？
梨紗　私ここにいていいよね？
トララー　みんな梨紗がいてくれないと困る。

梨紗 トラーは？

トラー えっ

梨紗 トラーは私にいてほしい？

トラー ・・・みんな、そう思ってる。

梨紗 (くすつと笑って) そっか。

トラーも微笑む。

(≡梨紗)

やさしいまなざし

いま私に向けられている

ことばはまだうまく伝えられないけど

いま心がほら通いあった

あなたも 私を見ている

梨紗 ねえ！

トラー ん？

梨紗 人生どうにもならない現実ってあるんだよね！

トラー はそれをいっぱい乗り越えてきたんだね。

トラー 日本語わからないよ。

梨紗 私もさ、これからいろいろあってもさ、大好きな人と一緒なら、きつ

と乗り越えていけるよね！

トラー だからクメール語で言つてよ。

梨紗 トラーと一緒になら！

(梨紗)

オン・スロライン・ボン

愛しています

オン・スロライン・ボン

私のほうから 愛を告げる言葉

(2人)

少しずつ 時間をかけて

大切なひとになっていった

(梨紗)

聞かせて こんどは あなたの言葉で

オン・スロライン・ボン

(トラー)

僕も同じ・・・

(梨紗)
ねえ・・・

もうちよつとのところで、トラーがやっぱり恥ずかしかって、離れてしま
曲が途切れる。
ドキドキしながら、成り行きを見守っていたソンプウ達ががっかり。

トラー　こっ、こどもたちが心配してる。
梨紗　そうだ・・・帰んなきゃ。

ソンプウたちはこっそり帰る。

トラー　みんな心配して起きてたぞ。ちゃんと謝れよ。

梨紗　うん。

トラー　梨紗はみんなのお母さんだから。しっかりしなきゃ。

梨紗　・・・。

「お母さん」の言葉に、立ち止まる梨紗。

トラー　どうしたの？

梨紗　(嬉しそうに) そうだね。早く帰らなきゃね。行こう。

梨紗が先に去っていく。トラーはふと立ち止まる。

(トラー)

ボン・スロライン・オン

心の中で

ボン・スロライン・オン

何度繰り返しただろう

君を愛してる　ボン・スロライン・オン

【十一場…雪とパパ】

龍村と雪がふたり。雪は荷物を持っている。

龍村

どうだった。くつくま孤児院は。

雪

うん、いろんな事件があったよ。

龍村

そうか。

雪

パパ。

龍村

なんだ。

雪

ここへ連れてきてくれてありがとう。

龍村

(驚いて)：ああ。

雪

私、学校に行く。

龍村

そうか。

雪

学校行きたくても行けなくなっちゃった子がいたんだ。なんか：自分がすごくわがままな気がしてきた。

龍村

お前はお前の事情があったろう。

雪

そのつもりだったけど。辞めるのはいつでも出来るなって思ってた。その前に、一度やっぱり行ってみようかなって。

龍村

そうか。それでいいさ。

駄目だったらまた次の扉をあけたらいい。

うん：。なんか、いろんなこと、当たり前だと思ってたけど、違っ

え？

龍村

ねえ、私が生まれた日のこと覚えてるの？

ああ、寒い朝でね、雪が降ってた。

私が生まれてうれしかった？

そりやあもう。雪の中ころげまわって喜んださ。

ころげまわって？

ああ、雪だるまみたいになっ

て。私がパパと暮らせるのって、あと何年かな。

急に泣きたくなるようなこと言うなよ。

それもずっと永遠じゃないんだよね。なのに、私、態度わるかった。

ハハハ。中学生なんてそんなもんだろ。

もう！人がせっかく素直にあやまろうとしてるのに！

ごめんごめん、パパもさ、慣れてないんだよ、素直な雪に。

もう！パパったら！

：ねえ。私、夢が出来たんだ！

夢？

龍村

雪 大きくなったからね、パパの仕事を手伝いたい。
そして、カンボジアの子のためになるような仕事がしたい。
龍村 そうか。
雪 また時々、ついてきてもいい？
龍村 もちろん。

■15 「雪とパパ」

雪) 部屋の外へ連れ出してくれて ありがとう
知らない世界 こんなにも広がってる

龍) 人生にはたくさん扉がある
ひとつ閉ざされても 気にしないことさ

2人) 次の扉をあければいい

雪) パパの娘だから
龍) 恐れずに進め

雪) 背中を見守っていて
龍) 背中を見守るよ 支えているよ

2人) この世界に

雪) パパのもとに生まれ (龍) 小さな手をはじめてにぎったあの日

雪) いつも暖かい食事とベッド (龍) 寝かした夜

雪) いつも一緒に暮らせたこと (龍) 転んでは泣いたお前を抱き上げた

雪) なにひとつ 当たり前じゃなかった

雪) ずっと そばに (龍) 成長してゆく姿をみるのは

2人) 奇跡のような幸せ

龍) やがてこの手を離し 飛び立つ日まで

2人) 時間は永遠じゃない
ただどいつまでも 愛してる

雪) パパ

【十二場…くつくま孤児院の夢】

梨紗とトラー、豪太と栄子、龍村が揃っている。

梨紗 日本製品のリサイクルショップ。

龍村 やってみないか。

トラー くつくま孤児院ですか？

龍村 そう。

豪太 確かに、今のくつくまなら、できるかもしれないなあ。こども達も立派に成長してきているし。

龍村 支援だけに頼らない方法を、考え始めたほうがいいと思うんだ。

栄子 梨紗やトラーもいつまでも若くいられるわけじゃないし、万が一

何か起こらないとも限らないね。

トラー 俺は死ぬまであの子たちを責任持って育てる！

梨紗 私だって！ねえトラー！

トラー ああ！

豪太 あらら？お二人さん？

栄子 なんかあった？

トラー なにも、ないよ！

梨紗 そうよ！ないわよ！

龍村

ぼくの友人がね、プノンペンで1年前からその店を経営してるんだけど、カンボジア人に運営を任せてもなかなかうまく行かないらしいんだ。それで、梨紗を推薦したんだ。

でも私、ビジネスなんてしたこと：

運営を任されるだけだから、金銭的なリスクは発生しないよ。

梨紗と、大きい子たちで交代で店をやれば、みんなで仕事になる。

梨紗
龍村

豪太 それはいい話なんじゃない？

栄子 うん、私もそう思う。

豪太 俺は、くつくま孤児院の支援をしてみて思ったことがある。

いま、カンボジアの子たちが貧困に苦しんだり、孤児になってるのは国の政策にほんろうされてきた歴史のせいとも言えるよな。

梨紗 うん。

くつくまの子はな、カンボジアを変えるリーダーになれると思うん

よ。

梨紗 カンボジアを変えるリーダー。

豪太

梨紗がきびしいくしつけたおかげで、あの子たち、日本語も英語も上手になった。得意不得意はあるけど、みんな個性ゆたかで、すごい可能性に満ちあふれてる。彼らこそ、カンボジアの未来を変えるん

や。

栄子 そうよね。私たちもただ食べるための支援をしているわけじゃない。日本で応援してくれる人達と一緒に、カンボジアの未来を作ってるのよ。

梨紗 未来を作ってる…

栄子 そうよ梨紗。あなた、実はすごい仕事をしてるのよ。
梨紗…

龍村 もし、孤児院が自分たちで生活する術を身につけられたら、カンボジアの多くの孤児院にとっても、いいモデルになるだろう。僕も、次の仕事にとりかかれる。

トラー 次の仕事って？タツさん。

龍村 僕はこれから、地雷で足を失った子や、奇形で生まれた子どもばかりの孤児院を支援することにしてるんだ。

この国はまだ障害を持った人がちゃんと生きていける場所がないからね。
くつくまの子はもう自分の足で歩く練習ができるんじゃないか？

梨紗 タツさん…

龍村 それにだ。カンボジアでラーメン屋をやるつもりだったんだけど。やらないの？

龍村 いや、カンボジアでは小麦がとれないんだよ。僕は、カンボジアが発展するような事業をやりたいんだ。だから、米の粉を使った麺をいま独自開発しててね。ようやくメドがたちそうなんだ。

栄子 すごい！米ならカンボジア産のが使える！
龍村 カンボジアの米を使った麺を、カンボジア人を雇って提供する。それが出来たら、若い人の仕事をもっと増やせる。

豪太 さすがタツさんやな。俺も負けてられん！

俺も発表します！今度新しくフィリピンでプロジェクト立ち上げることにした！

梨紗 トラー フィリピン？！

豪太 この前な、台風が直撃してものすごい被害が出たんで支援に入ったんよ。そしたらこの人たちが、自分たちも被災者なのに、みんなで助け合って生きてるんよ。
俺、この人達のためになんかせないかん、て思ってたな。やることにした。

栄子 豪太はいつもそう。世界中ひとりでも多くの人を笑顔にしたいんだもんね。だから私もついてくことにした！
梨紗 栄子も？！

栄子 だってこの人、勢いは最高なんだけど、細かいことがまるでダメ。
豪太 まるでダメって。
栄子 だってそうでしょ？
それに、カンボジアはもう、梨紗とトラーに任せられる。

梨紗 2人ともいなくなったら寂しいよ。
栄子 何言ってるの。梨紗はもう、昔の梨紗じゃないよ。強くなった。
20人の母親だもん。見つけたね、自分の居場所。
梨紗 自分の居場所…。

豪太 そう。これからは梨紗ちゃんも自分の夢をどんどん叶えて行ってや。
梨紗 私の、夢？
豪太 あるやろ、夢。

梨紗 な。私は…あの子たちが、自分のなりたいたいものになってくれるのが夢かな。
毎日、あつという間に過ぎていって、あの子たちと一緒にいるだけでそれだけで充分。
あの子たちを幸せにすることが私の夢。

豪太 そうか。最高やな、梨紗ちゃん。
栄子 トラー。梨紗に会えて、本当によかったね。

トラー ああ。夢なんて言葉、知らなかったよ。
子どもたちのキラキラした顔。それがずっと続くのが、俺の夢だ。

歌とともに、こども達が集まってくる。

■ 16 それぞれの夢に向かって

(大人たち & KIDS 数名)
歩いていこう
それぞれの 新しい夢に向かって

タヴィが手紙をもって駆け込んでくる。
タヴィ「大学の合格通知！」
全員大喜び。

梨紗「くっくま孤児院、大学生第一号！おめでとう！」

(梨紗 & トラー)

この子たちの笑顔が 私たちの夢

(梨紗)

ほんとうは 誰にも言っていない
心のなかの小さな夢
みんなに「お母さん」と呼ばれたい
本当の家族になりたい

豪太 あの手たりはどうにかならんもんなあ。
栄子 トラーがシャイすぎるのよね。

ソンポウ、カニヤー、ナリーが近づく。

ソンポウ そのことで相談があるんだ。

【十三場…くつくま孤児院／パーティー】

孤児院の朝。

梨紗　もうー、きょうは栄子と豪太さんの送別会だからいそがしいのに
なんで、こんなことに。
ねえカニヤー、ほんとにここに置いたの？

カニヤー　うん、みんなで書いたお別れの寄せ書き。たしかにここに置いた
のに、みつからないの。

梨紗　ちゃんと探した？

カニヤー　と、思うんだけど…。他の部屋も見ってくるね。その棚探してくれる？

梨紗　もうー、わかった。

カニヤーが部屋から出てくる。
みんなにOKサイン。

するとナリーがウソの大泣きをしてトラーを呼ぶ。

ナリー　トラーうえーん

トラー　ナリー、どうした？

ナリー　梨紗が、梨紗がいなくなっちゃう！

トラー　どういふことだ。

ナリー　いまそこで栄子たちが話してた。

指をさしたほうにトラーが行くと栄子と豪太とソンプウがいる。

トラー　どういふことだ。

ソンプウ　トラー、梨紗が日本に出稼ぎにいくつて。

栄子　そういつてきかないのよ。

トラー　出稼ぎ？

豪太　タヴィの大学のお金を、支援だけに頼るわけにはいかないつてな。
ほら、自分たちで稼ぐ方法をつていふ話で、梨紗ちゃんもすっかり
やる気になつてな。

栄子　まあ、梨紗の気持ちもわからなくないわ。

トラー　そんな！どうしてだよ。

栄子　もう今となつては、一緒に生活しなくても、トラーがいれば
こども達の面倒は自分がみなくても大丈夫じゃないかつて言つてた。

梨紗は部屋で探している。

梨紗　カニヤー！どこにも見つからないよ？

トラーに聞こえるのを恐れて、カニヤーがあわてて

カニヤー あっじゃあ、布団と布団の間かも。

豪太 トラーは誰かお嫁さんもらったほうがいいんじゃないかとか、言っ
たよなあ。

栄子 うん、自分はもうあきらめて、子ども達のために日本で働くつて。
トラー そんな!!!

トラーが出ていく。

豪太 ソンポウ。これで良かったんか？

ソンポウ ありがとう。ぼくたちは、梨紗にうそついてもすぐ見破られるから
さ。

トラー ナリー！梨紗知らないか。

ナリー うえーん、そっちの部屋で泣いてるよー

トラーが梨紗のところへ入ってくる。

何事かと振り向く梨紗。

梨紗 トラー。

トラー 梨紗、行かないでくれ！

俺が父親で、君が母親だ。君がいないと、みんなが、
いや、俺がこまる。俺が、君にそばにいてほしいんだ。
お願いだ、ずっとここにいてくれ。

梨紗 トラー……。

視線の先に…全員いる。

梨紗 みんな…。

トラー え？

トラー振り向く。みんなニコニコして見てる。

ダラー よかった。

タヴィ おめでとう。

ソンポウ もう、やきもきしたよ。

トラー お前ら。

梨紗 もう、また大人をばかにして！

リンダ あたしには恋愛禁止って言ってたくせに。

梨紗 リンダ：
リンダ でもうれしー！
テイダー あたしたち、ずっと待ってたんだよ。

マカラー これ、作ったの。

梨紗 これは、カンボジアの花嫁衣装：マカラーが？

マカラー うん、今日のために。

梨紗 今日のって、今日は栄子たちの送別会じゃ

豪太 いや、梨紗ちゃんとトラーの結婚式だよ。

梨紗 えっ？

栄子 こうでもしないと、安心してフィリピんいけないもんね。

もう、トラーがはっきりしないから。

トラー いや…：

スレイパウとパニヤーが走って飛びつく。

スレイパウ トラーがおとうさん

パニヤー 梨紗がおかあさん。

梨紗 おかあさん…？

パニヤー おかあさん！おとうさん！

梨紗 ありがとう…

・M-7 「HAPPY WEDDING ENDING」

(KIDS／ワンフレーズずつソロまたはデュオ 少人数)

ぼくたちのささやかな願い

雨露しのげるだけの

屋根がある家

隣にいてくれる大好きな人

おおきくなっていつの日にか

ここを巣立っていくまで

見守っていて

ふたりの優しさに包まれたいんだ

(リサ&トラー)

ここが私たちの家

ここで愛を育て

ここから希望を送り出そう

(KIDS)

HAPPY WEDDING! HAPPY WEDDING!
HAPPY WEDDING! HAPPY WEDDING! . . .

(子どもたちがリサとトラーに婚礼衣装を着せたり、花を飾ったり)

() 梨紗きれい。

みつめあい、ほほえみあい、ちよつと照れる、梨紗とトラー。

() さあ、パーティーの準備が整ったよ。

() 盛り上がって、いこう！

(KIDS)

W00000000000000000000H-! YAI

ぼくたちのささやかな願い
雨露しのげるだけの
屋根がある家
隣にいてくれる大好きな人

おおきくなっていつの日にか
ここを巣立っていくまで
見守っていて
ふたりの優しさに包まれたいんだ

(大人たち)

ここが私たちの家
ここで愛を育て
ここから希望を送り出そう

(全員)

未来は今この足元からつながっている(↑ここだけソロにしたい)

(梨紗)

これが私の選んだ道
ずっと探していた場所

(全員)

出会えたから見つけられた
一緒だから作り出せた

愛がもし形になってみえるとしたら

それは くっくま この家のなかにある
みんなの笑顔 それこそが愛

■ 18 「この道の先に（テーマソング）」 エンディングバージョン

おわり